

講習会 静粛設計のための防音・防振技術

第1技術委員会 丸田芳幸  
中央大学

第1技術委員会では、講習会「静粛設計のための防音・防振技術」を開催しました。この講習会は、約10年前から継続的に実施しているもので、今回は中央大学の後樂園キャンパスをお借りして2017年6月9日に実施し、41名の方に受講頂きました。

本講習会の企画趣旨は、機械の騒音振動対策に具体的に取り組み始めた初級の研究者・技術者が、防音・防振に関する基本から騒音低減に関する技術の勘所までを理解して頂き、研究・開発に役立てて頂くことです。そのために、簡単な実験を交えた騒音・振動対策の基本、静粛設計製品の開発方法、最新の吸遮音材料の使い方などについて、講義しました。今回の参加者の年代や参加の動機を集計しますと、20歳代と30歳代の方が全体の2/3を占め、半数強の方が「上司・先生・知人」の紹介により受講しています(図参照)。国内の機械工学系学科を持つ大学のほとんどで、機械騒音に関する専門科目としての講義が行われていない現状を鑑みると、初級者を対象にした本講習会が極めて有益に機能していると推察します。

講習会の題目や内容は、前年度までのアンケート結果を反映させて毎年変更を行っており、今回は下記の内容で実施致しました。

- I. 「機械の静粛設計・騒音対策の考え方」
- II. 「防音・防振の基礎理論」
- III. 「簡単な実験による騒音・振動対策の失敗例, 成功例」
- IV. 「事例に基づく振動・騒音の低減方法(1),(2)」

第1技術委員会では、例年初夏に初級技術者向け講習会を開催しており、2018年も開催しますので、関心のある方は奮ってご参加ください。

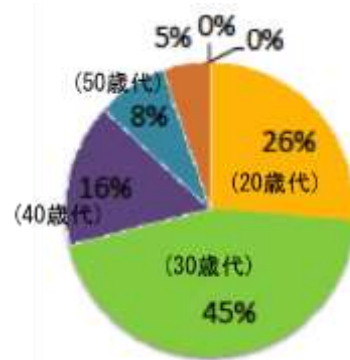
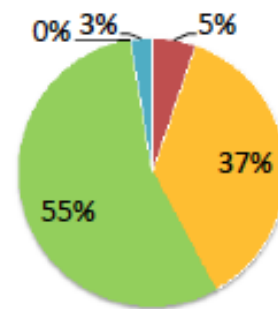


図1. 講習会参加者の年齢構成 (アンケート結果)



- 機械学会誌の会告原稿
- 機械学会のwebページ
- 上司・先生・知人の紹介
- メーリングリスト
- その他

図2. 講習会参加の動機 (アンケート結果)